令和3年度 各会計決算認定

令和3年度の一般会計、特別会計、企業会計の各決算認定について、9月定例会の会期中に決算審査を行い、本会議において、全件を認定しました。

一般会計 決算	● 歳入	414億 102万2千円
	● 歳出	396億7,237万1千円
	歳入歳出差引額	17億2,865万1千円
	実質収支額	14億8,718万3千円

(※ 歳入歳出差引額から翌年度繰越財源 2億4,146万8千円を除いた額)

令和4年

9月 定例会

会期
8月30日～9月29日 31日間

たつの市では、予算決算特別委員会を設置し、3つの分科会に分かれて決算を審査しています。

総務生活

開催日
9月 1日
9月 7日

一般会計

Q 戸籍住民基本台帳事務協議会負担金及び地方公共団体情報システム負担金について、どのような理由で不用額が生じているのか。

A マイナンバーカードの発行数に対して負担金を支払うもので、予算はマイナンバーカードを100%発行する見込みで算定しており、負担金は実際の発行数に対する額になるため、不用額が生じている。

Q PCB使用機器処分手業について、PCB使用機器はどこにあるものをどのように処理しているのか。

A 市公共施設の蛍光灯や変電器についているPCBを北九州の処理施設へ委託して処分している。
※ PCBとは、ポリ塩化ビフェニルの略称で、主に油状の化学物質。

Q スズメバチ駆除支援事業について、ほぼ予算額まで執行しているが、年度途中で予算が不足した場合は、補正予算などで対応することは考えているのか。

A 自治会等からも公民館にある巣の駆除について検討して欲しいとの要望があり、来年度、予算の拡充を検討していきたい。

Q 選挙執行事業について、ポスター掲示場設置等委託の費用が選挙によって違うのは、掲示場の数が違うためなのか。

A 掲示場の数は同じであるが、選挙によって掲示場に貼るポスターの数が違うことから、枚数が増えたと掲示板が大きくなるので、作成費や設置費、撤去費等の金額が上がっているためである。

国民健康保険事業特別会計

Q 特定健康診査等事業について、対象者のうち受診する人はどれくらいの割合なのか。

A 令和3年度の受診率は約30%となっており、受診勧奨を行い令和2年度に比べて受診率は上がっている。